



(別添)

2020年5月28日
NITE (ナイト)
独立行政法人製品評価技術基盤機構
製品安全センター大阪本部

News Release

屋内で起こる高齢者の転倒・転落事故を防ぐ ～安全な製品選びのポイントと運動時の注意点～ -近畿2府4県における事故の防止-

1. 事故発生状況

NITE (ナイト) に通知された製品事故情報^{※1}において、屋内の高齢者^{※2}の事故は、近畿地方2府4県 (滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県) では、2010年度から2019年度までの10年間に合計174件ありました。

(1) 年度別 事故発生状況

表1に「年度別 府県別 事故発生状況」を示します。

表1 年度別 府県別 事故発生状況^{※3} (単位: 件)

		滋賀	京都	大阪	兵庫	奈良	和歌山	合計
事故発生件数	2010年度	2 [2]	2 [1]	11 [3]	9 [2]	1	1 [1]	26 [9]
	2011年度	2 [1]	3 [2]	6 [2]	2 [1]	1	3 [1]	17 [7]
	2012年度	1 [1]	3 [1]	8 [2]	4 [3]	2 [2]	2	20 [9]
	2013年度	1	2 [1]	10 [4]	8 [3]	1		22 [8]
	2014年度	2 [2]		1 [1]	4 [2]	3 [2]	1	11 [7]
	2015年度	1	1	8 [5]	2 [1]			12 [6]
	2016年度	1 [1]	1	13 [8]	5 [2]	1 [1]	1	22 [12]
	2017年度	2 [2]	1 [1]	12 [7]	5 [3]	2 [1]		22 [14]
	2018年度	2 [1]	4 [4]	4 [1]	5 [1]	2 [2]		17 [9]
	2019年度	1		3 [2]	1 [1]			5 [3]
合計	事故件数	15	17	76	45	13	8	174
	火災件数	[10]	[10]	[35]	[19]	[8]	[2]	[84]

(※1) 消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大製品事故やヒヤリハット情報 (被害なし) を含める。

(※2) 本資料では、WHO (世界保健機関) が定義する高齢者 (65歳以上) を対象として、集計、分析を行った。

(※3) 重複、対象外情報を除いた事故発生件数。 [] は火災件数。

(2) 被害状況

表2に「府県別 被害状況」を示します。

表2 府県別 被害状況^{※4} (単位：件)

		滋賀	京都	大阪	兵庫	奈良	和歌山	合計
人 的 被 害	死 亡	5	6	18	10	5	4	48
		(6)	(6)	(23)	(11)	(5)	(4)	(55)
		[5]	[6]	[14]	[10]	[4]	[1]	[40]
	重 傷	4	4	27	13	2	3	53
		(4)	(4)	(29)	(14)	(2)	(3)	(56)
		[2]		[7]	[2]	[1]		[12]
	軽 傷	6	7	31	22	6	1	73
		(9)	(10)	(42)	(26)	(8)	(2)	(97)
		[3]	[4]	[14]	[7]	[3]	[1]	[32]
合計	事故件数	15	17	76	45	13	8	174
	被害者数	(19)	(20)	(94)	(51)	(15)	(9)	(208)
	火災件数	[10]	[10]	[35]	[19]	[8]	[2]	[84]

(※4) 重複、対象外情報を除いた事故発生件数。()は被害者数。[]は火災件数。

2. 屋内の高齢者の転倒・転落事故の発生状況

屋内の高齢者の転倒・転落事故は、近畿地方2府4県（滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県）では、2010年度から2019年度までの10年間に合計37件ありました。

(1) 事象別 被害状況

表3に「府県別 事象別 被害状況」を示します。

表3 府県別 事象別 被害状況^{※5}（単位：件）

			滋賀	京都	大阪	兵庫	奈良	和歌山	合計
転倒	人的 被害	死亡						1 (1)	1 (1)
		重傷	2 (2)		7 (7)	6 (6)	1 (1)	2 (2)	18 (18)
		軽傷		1 (1)	3 (3)	3 (3)	2 (2)		9 (9)
	合計	2 (2)	1 (1)	10 (10)	9 (9)	3 (3)	3 (3)	28 (28)	
転落	人的 被害	死亡			1 (1)				1 (1)
		重傷		1 (1)	3 (3)	1 (1)			5 (5)
		軽傷	1 (1)		1 (1)	1 (1)			3 (3)
	合計	1 (1)	1 (1)	5 (5)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	9 (9)	
合計	事故件数	3	2	15	11	3	3	37	
	被害者数	(3)	(2)	(15)	(11)	(3)	(3)	(37)	

(※5) 重複、対象外情報を除いた事故発生件数。()は被害者数。

3. 事故事例の概要

(1) 踏み台で転倒

2011年2月（大阪府、80歳以上・女性、重傷）

【事故の内容】

踏み台を使用中、転倒し、負傷した。

【事故の原因】

踏み台に乗って作業中、何らかの要因によりバランスを崩すなどして転倒し事故に至ったものと考えられる。

(2) いすで転倒

2013年6月（兵庫県、60歳代・男性、重傷）

【事故の内容】

いすに着座中、いす枠から座面が外れて転倒し、負傷した。

【事故の原因】

組立者がいすを組み立てる際、座面の前後の袋縫い部分に横木を通していなかったため、座面に加わる荷重を座面左右端部のステープラー固定された部分のみで保持する状態となり、座面端部が外れ転倒に至ったものと考えられる。

なお、組立説明書には、横木を座面の袋縫いに通す手順が横木の向きとともに図示されている。

4. 屋内の高齢者の事故の映像について

屋内の高齢者の事故の再現映像及び静止画をご希望の場合は、下記のお問い合わせ先までご連絡ください。

なお、映像等をご使用の際、クレジットは「製品評価技術基盤機構+niteロゴ」としてください。

（本件に関するお問い合わせ先）

〒559-0034 大阪府大阪市住之江区南港北1-22-16

独立行政法人製品評価技術基盤機構 製品安全センター

製品安全広報課 課長 柿原 敬子

担当者：製品安全広報課 小寺

電話：06-6612-2066 FAX：06-6612-1617